

登録コード	UAI02600	開講年度	2026			
授業題目	都市政策特講				担当教員	LEE HYUNUK
					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・2時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
	2 4 UAカリ・総人社・経済学					
	【研究科共通】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組み、問題解決に不可欠な統合的なシナリオを提示する提案力を有する。				⇔	現代社会の都市空間の変容や都市問題の社会的課題を既存研究から整理し、学問的問いを立てその分析方法を取得することができるようになる。
	2 6 UAカリ・総人社・経済学, 2 5 UAカリ・総人社・経済学, 2 4 UAカリ・総人社・経済学					
	【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。				⇔	都市経済に関する既存研究と都市規模ごとの都市問題を日本と先進国の事例を踏まえてその特徴をまとめることによって、今後日本における大都市と地方中小都市の政策的方針を立てることが可能になる。
	【経済学】専門知識に基づく論理的な思考の下に、地域・社会・経済について、必要な量的・質的データを採取する能力及び、採取したデータを用いた実証分析や社会調査を行う能力を有する。その分析能力を、地域・社会・経済の課題解決に多面的に展開できる応用力を有する。				⇔	都市における産業構造の変容を統計資料とフィールドワークを通じて分析し、さらに質的データを採取し統計的資料の解釈ができるようになる。
	【経済学】専門知識に基づく論理的思考とデータ分析に裏打ちされた根拠に基づき、地域・社会・経済の課題に対し、解決策を自ら創りだし、解決へのシナリオをデザインする能力を有し、実情に即した政策提言を行うことができる能力を有する。				⇔	都市空間の社会的分断現象についてその原因の調べ、社会集団の空間的統合のためできる政策的方針を立てることができるようになる。
(2)授業の概要	人間が創出した最大の傑作とも称される「都市」空間は、これまで拡張から縮小へと空間的変容を遂げてきた。さらに、国境を越えた都市間関係の強化は、従来にも増して速い速度で都市の経済的・社会的側面に影響を与えている。グローバリゼーションは都市機能にも大きな変化をもたらしており、とりわけ多様な文化背景と高度な能力を有するクリエイティブ・クラスが存在や都市文化の形成は、都市経済の新たな原動力となりつつある。 本授業では、日本および世界の多様な都市が経験している都市空間の再構築や都市問題、さらに都市文化の形成について既存研究を踏まえて学ぶ。そのうえで、都市空間の分断と統合、新たな都市経済の原動力となる都市住民の主体的な対応に着目し、問いを立てながら分析を行う。					
(3)授業計画	1. 都市の誕生 2. 都市の成長と郊外化 3. 都市の大規模化 4. 先進国における都市縮小 5. 都市と貧困問題 6. 都市のサービス業 7. 都市間のネットワーク 8. 都市の空間的分断に関する中間発表 9. 都市とマイノリティ集団 10. 都市の民族経済の出現 11. 文化産業と都市 12. 都市の商業空間の再構築 13. スマートシティの形成 14. 都市の空間的分断に関する最終発表 15. 最終レポートの提出と議論					
(4)成績評価の方法	授業では、都市に関するテーマに沿って、毎週既存研究（論文3本）を中心に議論を行います。 評価は、各週の論文に関するレジュメ（40％）、「都市の空間的分断」に関する中間発表（20％）、および最終レポート（40％）によって行います。					
(5)成績評価の基準	1. 毎週の学術論文について、主な内容、研究方法、および成果の限界を正確に理解すること。 2. 最終レポートのテーマに関するフィールドワークの内容を整理し、最終レポートを提出すること。					
(6)事前事後学習の内容						
(7)履修上の注意						
(8)質問,相談への対応	オンライン対応：月曜日～金曜日：午後17時～18時 オフライン対応：授業中に行う。					
【教科書】	竹中克行（編集） 2022 人文地理学のパースペクティブ ミネルヴァ書房 毎週の決まった参考論文					
【参考書】						